京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久勝一郎
京城西小門通（電話二八六）
發行所 京城新報社

四十三年の農作

農事上より見て昨年は豐作であつたから益の應りならば本年は凶作になるが新の如き事は必然かりでなくてはならぬ、理由のないもない、人爲を以て豐年を築しえなならば何年でも續いて豐作を得るといふは不可能の事では決して無いと思ふ。

又農業に關係を有するもの以實稍らん限りの力をつくして永久に豐作の續で事を努めねばならぬ、然る所昨年の豐作の結果より押して本年の農作を將ふねば當時以賀で稍要ひとする問題が起つて居る、其れは何であるか昨年は豐作であつたけれども一面に米の價格は下落した故に農村の金融は甚だ逼迫を感じたる、之れに反して都會の金融は非常に緩慢を示し現に利息も段々引下げらるゝ有様である、反對に農村の方は前述の如く逼迫して利息も高まりつゝある現況を認むる事ができる。

其結果として本年の農作に及ぼすべき最大影響は取りも直さず肥料の問題である他にも問題となるべき事件は種々あれど餘は之れを最も大なるものと信ずる、即ち金融不充分の状況にして速かに回復するに非ざれば農家は明年の農作に對する肥料の購入を差控へる事は火を觀るよりも明かである、從て收穫の減少を來しはせぬかといふ疑念を生じて憂ひとなる所以である。

此問題に向つては農業に關係を有するものは極力法を講じて收穫の減少せざるやうに努めなければならぬ、然り而して昨年の如き状態は將來に於ても或は又遭遇する事なしとも限らぬ故右に關しては今日より考究し準備してたく必要がある以上の事に就ても思合はすのは我國に於ける産業組合の未だ幼稚なる事である、産業組合にして充分の發達を見なば昨年の如き場合に於ても農村に於て金融の途も充分つき進んでは都會に於ける餘裕の資金を農村に移し來つて融通する方策も容易に立ち得ると思ふ。

獨り産業組合のみと言はず或は米券倉庫の如き其他各種の經濟機關の發達を見るに非ざれば到底農家の經濟状態を充分に改良する事の六ケ敷事であるのは言ふを俟たぬ、元より農家の經營に就ては肥培耕耘の方を改良し大に收穫を増加せしむる事は古今を通じて易る可らざる第一の眼目である。然し乍ら一面經濟の進歩に伴ひ必要なる各種の手段、換言すれば商業的並に工業的方面に向つた農業經營の手段を擴張するに非ざれば利を占むる事は困難となつて來た、要するに西洋の諺にある如く『穀物を倉に入れる迄が百姓の能ではない』のであるから農業に關係ある人々は官民を問はず大に此方面に向つて力を竭されたき者である

本年度の繼續費

隆熙四年度現在の既定繼續費は總額千三百十五万二千二百十一圓にして四年度以降支出すべき金額は三百二十萬九千百八圓なり其費目及年割額を左に表示す但し隆熙四年度に於て新豫算に計上したるもかなし

治道費（總額）二百四十九萬六千圓
三年度の支出額二百二十萬二千圓
仁川水道工事費（總額）
二百四十二万九千餘圓
同 歩
二百九十万三千餘圓
海關工事費 總額 六百六十万三千餘圓
同 四百四十一萬四千四百餘圓
開港設備工事調査費（總額） 一萬六千圓
同 四千圓
鹽田築造及鹽倉新營設備費（總額） 百十六萬圓
同 廿二万九千五百余圓
計千二百十五萬三千二百餘圓
同 八百九十四萬三千餘圓

尚本年度支出總額は二百八萬九千三百餘圓五年度六十九万九千七百餘圓六年度二十五萬圓同七年度十七萬圓の筈

韓米の前途

韓米の状況に就ては數次報ずる所ありたるが其後低落又低落の有様にて既に舊冬十一月末の價位は上玄米九圓二三十錢精白米十三圓五六十錢の間にありしが同十二月末に至りては順次低落の結果上玄米八圓中同七圓五十錢同下七圓精白十二圓五十錢並白十二圓韓白一等九圓八十錢となり確に玄米一石に就き一圓二三十錢白米も同様一圓十錢の暴落を見るに至りしが其後今日に至る迄は先づ居据りの姿にて高下共何等の變動を見ざるが此の如き米價の低落は實に未曾有の事にして今后共價は下向を豫想して正銘自失する米商あれば今が底値と頻りに買收に力むる者もあり區々にして何とも氣迷の内にあるが要するに今が最低の相場にて今後著るしく低落は見るに至らざるべしと某米通は語れり

●警備船と巡廻醫師

昨年末より木浦警察署に備へられたる警備船に就ては其の設置に於て救急藥と藥組まし藥品器具一切を準備し附近島嶼若くは沿岸地の患者に診察を行ひ難所に簡單なる衛生講話をなし、最も殊なる韓人に衛生思想を注入し各地に於ける韓人の衣食住に觀察研究を兼ねつゝあるが成績案外に良好なりと

日本銘刀傳

第十四席 邑井一 講演

弟子達は驚いて介抱する、相鎚を打つた三人の弟子もへト／＼に疲れて倒れやうとするのを外の弟子達が之れを介抱する、實に師弟共に一生懸命に鍛つたのだから刀に精神が這入るのも無理はない、正宗も弟子三人も漸く水を飲まして我に返りて生氣付いた、之れを見た景光は思はず『ヘヽー』と頭を下げ、兩手を敷居に置き茫然として郎へるが如くであります、實に名人の心掛けと云ふものは違つたものだと我れを忘れて感服しました、正宗は氣が付いたので奥へ入つて衣服を改めて景光を座敷へ通し丁寧に挨拶に及んだ

正『御尋ねに預つた正宗は私でございます』

景『イヤ何うも恐入つた、イヤ見事なる正宗氏の腕前、手前は備前長船の住、景光の倅景光と申す者でござる、實は御承知でも候はんが今度勅命に依り日本の宗匠たらんと存じ一刀を鍛つて都へ差出し自分の未熟なるも知らず拙者こそ日本の宗匠たるべしと自慢を致し居つたるに、豈計らんや廿一番目となり、大に面目を潰したるのみか、多くの者から馬鹿にされ、餘りに傲慢なりし天罰は覿面、又た父より勘當を蒙りし物から、貴殿の腕前を拜見し、萬一我に劣ることあらば、我が門弟になし立歸らんと、父に別れ遙々當地へ來りた細工の様子を拜見せしに、中々尋常の及ぶ所にあらず、人を守り侍の魂とすべき物なれば、アヽ無くては叶ふまじ、手前は元來酒を好み細工をする傍に徳利の離るゝと言葉なく、酒に心の奪されれば鍛たふる刀は何程物が出來ましやう又合槌の者迄も師匠を見習ふ放逸心、先刻の始末にて初めて已れの足らざるを辨まへたり、依て是れより先生の門となり、腕を磨き父の勘氣を免されんを待のみ、何分御願み申します』

と誠に明して備前景光正宗の弟子に入り一生懸命に勉強して腕業が進みました故親父に詫の功を遂げて國へ歸り、身の品行を改めて正宗十哲の內の一人と呼れたり、扨て正宗は彌前益々上り父の讓りを譲け、妻を迎へ家富み榮へまして、行光夫婦も亡人の數に入り、正宗も追々年老て最早四十の上を六つ七つ越したるも、未だ男の子と云ふものがない、唯これが一つの心配けれども正宗の名はドン／＼皆て來ました、今では日本國中正宗でなければならぬやうになつた、非常に澤山の弟子がありますが、なれども二代目の正宗を相續させやうと云ふ者がない、正宗と云ふ人は自身は天下の名人であるけれども、兎角に子の運もなければ弟子の運もない先づ是れなれば我が片腕にもなるだらうと思はれるのは、越中國鎌倉から出た義弘と云ふ者、是れは名人だつたが三十歳になるやならずに死にました、此人は鄉義弘と云ふて有名な人物、此傳記は後に申上げます、其內に月日に關守なく正宗も年を取る許りであります、女房も先きに死んで當年十八歳になる『たかね』と云ふ娘が一人ある、容貌は頗る美い、心も至つて柔順で能く親に仕へ、母親の死んだ後は甲斐々々しくも臺所一切を引受け、下女を相圖して毎日／＼の父の食事のことから、多くの弟子の食事のことまで整理してやつて居ります、正宗は此娘へ養子をして我が家を繼がせんと思つたが、今弟子のうちを見渡すに先づ第一に團九郎政近、次に喜左衛門村政、次が彥四郎貞宗、此外に好い弟子はあるが、何れも國へ歸つて妻子を携へて居る、依つて先づ此三人を呼んで

正『扨政近、村政、貞宗知つての通り、俺は男の子が無い、附ては娘へ此三人の內で俺の眼に叶つた者を婿に仕やうと思ふ處で是れ前方に向ふ廿一日の暇をやるから刀を一と振り鍛治で出しな、其刀の氣に入つた者を婿にするから』

三人は大悦びだ、日本の宗匠天子樣の御番鍛冶の跡繼ぎとなり、又娘のたかねは名代の美人だ、其中に彥四郎貞宗は兄弟子二人に比べますと腕も遙かに劣つて居りますから『俺やふせ俺は政近さんや喜左衛門さんには叶ふ程の腕はないが、併しあの二人の中へ挾んで呉たのが有難い、兎角はいはず一生懸命にやらう』と心靜やかに刀を鍛ちに掛つた



東京電報

▲獨逸大使の拜謁　東京　駐剳獨逸特命全權大使ムンム男は天皇陛下に拜謁仰付られたり（八日）

▲陸軍始と觀光團　本日陸軍始めに付大元帥陛下御臨幸觀兵式を擧行され米國觀光團三百名も陪觀し盛況を極めたり（同上）

▲米觀光團の入京　米國觀光團は本日東京市の熱鬧なる歡迎を受けたり（同上）

▲國庫債券の償還　大藏省に於ては四十二年度國債整理基金の餘裕を以て第二回國庫債券千五百萬圓の償還を爲す筈にて來る二月下旬抽籤を行ひ四月下旬現金拂渡を爲す豫定なり（同上）

▲滿洲鐵道と列國　米國は列國に向ひ滿洲鐵道を中立せしむる爲め日、英、露、米、獨、佛諸國のシンジケートにて資金を調達し滿洲に於ける日露兩國の鐵道を淸國政府に買收せしめ政治及軍事上、使用せしめずとの意見を提出せしに付日本は主義に於て贊成し尙は露國と協商すべしと答へ英國も主義に於て贊成し露國は之れを保留すべしと回答せり

▲桂首相病氣引籠　桂首相は客臘以來扁頭尖炎にて葉山別莊に靜養して快方に向ひたる故歸京したるも又々健康を害し三田の本邸に靜養中なり（同上）

▲兵器廠員の更迭　韓國駐剳陸軍兵器支廠員稻井彥次郞、緖方勝三氏は濟南開出張所勤務を命せらる

▲國稅償還法律案　政府は日露會社の砂糖滯納稅額二百餘萬圓の年賦償還を許可する方針にて二十四五日頃議會に國稅年賦償還に關する法律案を提出すべし（同上）

▲大給伯爵の昇敍　大給伯爵は特に正二位に昇敍されたり（同上）

北京電報

▲李家駒氏の上奏　憲政考察大臣李家駒氏は日本憲政制度視察の結果專ら日本の制度に則り地方制度郡制制度の編纂に從事し頃日（一）內廷供奉の諸官職員を區別し及增加すると（二）宦官を廢し女官を置くと（三）皇族の資格を規定し是を典範に勒し以て尊嚴を保つべきこと等に就き攝政王に上奏せり（七日）

歐州電報

▲載洵殿下と獨帝　淸國海軍視察特派員の一行は伯林に到着したるが伯林停車場にはオスカル親王出迎へし膠州灣總督も出迎したり オスカル親王は異例の待遇を以て接待懇切を極め載洵殿下は其厚遇を感謝せり（七日着）

▲露將校の米國行　露國海軍將校よりなれる委員は戰鬪艦建造の研究を爲すべく米國に赴く筈

▲佛國の關稅改正　里昂電に依れば關稅改正案は佛國下院を通過し本年三月三十一日より實施

▲佛大統領の訪問　佛國大統領フアリエル氏は近く瑞西國を訪問すべしと（同上）

▲載洵殿下に勳章　淸國特派員載洵王に對し獨逸皇帝は特別なる思召に依り頸飾赤鷲一等勳章を賜はりたり（同上）

韓報

統監一行の消息　統監の一行を乘せたる光濟號は七日午后六時頃高濱に到着せしも天候の都合に依り上陸一泊は之を見合せ直に大阪に向け出帆せし由其筋へ電報ありたり

大屋長官に詰問（鐵道分岐點に就て）　鐵道の起點の大田に決定したることの發表せらるゝや鳥致院、淸州、公州等の居留民は今更らの如くに驚き就中公州居留民に於ては大屋局長が地方民の利害は之れを顧みざるも可なり公州の如きは線路より除外せらるべしと云ひたるに對して頗る憤慨し直接に大屋局長の意見を聞くべく兩三日中に委員を入京せしむる筈なりと云ふ

租稅徵收の費額　韓國の租稅は本年度の豫算に計上したる總高千百五十六万五千五百九十二圓なるが此內より關稅三百十二萬七千八百七十四圓と噸稅八萬九千百九圓を差引く時は純然たる租稅八百三十四万八千六百九圓にして是れに對する地方財務費百三十九萬四千六百四十一圓なれば豫算の項目中地方費賦課金取扱費六萬五千圓地方委員會費五萬五千圓を除き其他は四分六と爲し六步を租稅徵收費とする時は百圓に付き八圓八十錢となるべし而して之れを日本の租稅徵收費に比較すれば日本は百圓に付き二圓三十錢なるを以て韓國の徵稅費は日本の約四倍なるが斯くの如く多大の費用を要するは吏員の俸給及旅費の多額なること其の重なる原因なりと云ふ

船舶檢査の實施　韓國の沿岸航路に從事せる日本の船舶は領事館時代より理事廳の今日まで別に規則の存するものなく便宜行政上の所分を以て檢査を爲したるものなるが韓國の船舶法及び船舶檢査規則も愈々來る三月初旬より實施せらるゝ筈なれば統監府に於ても之れと同時に船舶規則及び同檢査規則を設け從來理事廳に於て爲し來りたる船舶檢査を規則に依りて行ふ筈なるが遞信省に於ても亦其に便宜の方法を以て檢査を行はしむる由なればこれが檢査官たる者は遞信省統監府及び韓國政府三樣の資格を有することゝなるべく而して海員資格の如きも過渡時代のことなれば最も簡易の方法を以てし從來の無資格者も此際特に資格を與ふることもあるべしと云ふ

●歲末釜山穀物市場　釜山穀物市場に於ける昨年十二月下旬取引は四十一年同期と比較すれば總數にて一萬五百四個の增にして米は六百四十七個大豆は九千三百十三個雜穀は五百四十五個の增加なり尙ほ前旬報と比すれば總數にて五千八百十一個に減少して內譯は大豆千九百廿六個の增にて米は七千三百〇七個雜穀は四百三十五個の減なり

品名	數量	最高	最低
摩稼	一、五八一	一一、〇〇	八、三〇〇
中白	三、一六一	八、五五〇	七、二〇〇
玄米	一五、四五四	八、六五〇	六、八〇〇
籾	一五	三、二〇〇	
糯中白米	三三三	九、五〇〇	八、八五
同玄米	六	八、〇〇〇	
大麥	二二九	三、一〇〇	三、〇〇
裸麥	四〇	三、一〇〇	
胡麻	五九	八、九〇〇	八、五〇〇
粟	二六三	七、三〇〇	七、一〇〇
荏子	三〇	六、五五五	六、一〇〇
小豆	一三四	八、〇〇〇	六、二〇〇
大豆	一六、七一四	六、四〇〇	五、三〇〇
合計	三萬八千〇〇九		

●商工業の調査計畫　農商工部にては本年度の豫算に於て商工業調査費として一萬五千圓を計上したるが今其計劃の大要を聞くに右は從來殆んど等閑視され產業政策上依り基準する處なかりし慣習、生產及物資集散の實況並に交通金融機關の現狀等に就き綿密精細なる調査を遂げん爲に今明兩年度に涉り實行する方針を立て二萬圓を要求せるが遂に斯く削減せられたる由而して調査委員は奏任待遇判任待遇者數名を置き之れに通譯若干を付し各員は部署を別ちて一箇年十回各道へ出張調査する筈にて其職制は近々發布せらるべし尙ほ委員は日本より招聘すべく目下其人選中なりといふ

●小學教科書の改定　來る四月新學期より現行小學教科書の改定ある筈にて文部省より統監府へ此旨通知し來りたるが右改定內容は假名遣を復舊し尋常四年迄は假名を有せざる漢字五百五字なりしを八百餘字に增加し從來に比し餘程其程度を增進せり又改定の特長は文學的又は國趣味を鼓吹し教材亦學實にして實用主義を執り揷畫の如きも大に面目を更新し童話又頗る多く從來の單調子を改むる等現行教科書に比し非常の變趣あるを見る而して之が實施は差向き一部を改め全部の改定は漸次之を行ふ計畫なりと

●愛國婦人會新年會　愛國婦人會韓國本部役員會員有志の新年名刺交換會は一昨七日午後二時京城ホテルに於て開催されたるが當日大屋、三浦、山口、香阪、國分、小松、中村、鈴木、遠藤、村上、検、松井、津輕、佐々木、京口、木島、峯尾、三宅、頭本、國分、井上、城古城、菱田、久保田、大島、關、兒島、長谷川、淵澤、三島、朴、佐伯、川上、佐々木、江越、澤田、井出、石川、海津、遠藤、福田、岸、乘古、中野、小林、松本、二宮、木村、松本等の各夫人出席一同新年の賀詞を交換し千朝の落語壽香孫の演奏等あり和氣藹々の裡に散會したるは午後四時

●未勘金眞相と現狀　韓國に於ては他國に例無き一種特獨の未勘金なるものありて年々整理の結果國庫の收入と爲り居ることとなるが此未勘金なるものは先年腐敗したる韓國の徵稅制度時代に於て徵稅官たる郡守等が私に消費したる金にて隆熙一年以前に於けるものを以てし其の高凡そ百万圓あり度支部にては昨年以來之れが整理に着手し本年度の豫算に於ては二十万圓の收入に計上せられ居ることとなるが整理の遂行するに隨て一大疑獄の起ることもあるべしと云ふ

●民團理事者の憤慨　公金費消事件にて元の徵稅課吏員が續々拘引せられて民團の醜狀暴露せらるゝや民團理事者は曰く下級吏員中に刑事問題を惹起したるは役所の不始末なりしは云ふまでもなしと雖も居留民に於ても公德心を重んじて納稅の告知を受けるや稅金を役所又は出張所へ納むるに於ては決して斯の如き事件を惹起せざりしならんと憤慨し居れるが自分の不始末を棚に上げて之れを居留民に諉せんとするは卑劣のことなり（京通）

●釜山水產會社成績　釜山水產株式會社昨年下半期の損益決算を聞くに左の如し

總益金	二六、〇三二圓七九八
損失金	八、七九五圓一〇八
純益金	一七、二三七圓六九〇
前期繰越金	一一七圓八四〇
合計	一七、四五五圓五三〇
內譯	
積立金	一、九〇〇圓
營繕積立金	八七〇圓
賞與金	一、八〇〇圓
配當金	一二、六〇〇圓
（一株一圓〇五錢、年一割四分）	
後期繰越金	一八五圓五三〇

●龍山の電車竣成期　龍山十五圓道路の電車軌條布設に就ては軍司令部及鐵道管理局より當區廿六日附を以て許可されたるを以て瓦斯電氣會社にては目下鐵軌及諸材料の注文を終り頻りに準備中にして到着次第直ちに工事着手の筈なるが其筋に對する竣工期間は一箇年なるも會社にては其以前に工を竣ふる豫定にて尙ほ最終基點は龍山停車場前にして軌條は複線也

●輸出鑑定價格標準　釜山稅關輸出貨物適用鑑定價格標準左記の通り改正本月四日より實施さる

品名	每百斤	品名	每百斤
上白米	三、八〇〇	小豆	二、七〇〇
中白米	三、五〇〇	大麥	一、八〇〇
玄米	三、四〇〇	小麥	三、六〇〇
糯中白米	四、〇〇〇	胡麻	四、八〇〇
同玄米	三、八〇〇	豌豆	二、九〇〇
粉白米	二、九〇〇	蕎麥	一、八〇〇
同玄米	一、三〇〇	粟	三、九〇〇
大豆	二、八〇〇	籾	二、〇〇〇

●今後の滿洲諸問題　滿洲に於ける諸問題中今春早々解決せられ若くは實施せらるべきもの如左

一、日淸郵便協約の締結發表
二、滿洲協約細目就中撫順炭坑境界及び課稅問題の商議
三、同京奉線奉天城根延長問題の商議
四、日露連絡運輸の實施
五、滿鐵政府配當問題の解決
六、吉長線の實測及び起工準備
七、旅順工科學堂及び都督府立高等女學校の諸準備

▲韓國總督新設置　韓國統監の更迭は今や時機の問題に屬し、恰好の適任者あり次第、直に事實として現るゝことゝなり居るも、所謂帶に短く襷に長き候補者のみにて、結局適任者を見出す能はざる爲め從來の制度を改め新に韓國總督を置きて之を威壓部とし、政治方面の實權は民政長官同樣のものに多少の彩色を施して、實力あるも所謂貫目足らざる政治家を登用し、一切之に委せんとの說、臺閣の一隅に起れりと云ふものあり、之と同時に京城在留の日韓人中には早くも長谷川大將の再來を豫期する者も尠からずして日韓兩方面に斯く全然符合せる風說豫想の同時に起れるは、時節柄大に注目に値すべし

●問安奏書提出運動　合邦問題に敗れたる一進會は其後沈默の狀態に在りて何等の行動をも演せざるが同會一部の人々は之が爲めに國賊と呼ばれ賣國奴として擯けられ衆民の怨府となりて殆んど四面楚歌裡に陷れるを無念に思ひ擧を問安に托して一篇の奏書を提出せんと目下起草中なりと

●小學校始業式擧行　民團立小學校にては今八日午前十時始業式を擧行し生徒一同を講堂に集め校長より一年間の心得を訓諭し更に諸子は模範國民なり諸子は模範學校生徒なりと大書揭示せるものに付き詳細敷衍諄諭する處ありたり總て校長は職員一同に對し一場の訓示を與へたる由

●鄭雲復氏の西北行　西北學會々長鄭雲復氏は去る六日崔錫夏氏を伴ひ平壤方面に出張せり用向は該會の如き非政社組織にては運動面白からざるより純然たる政黨組織計畫の爲なりとの說あるも實は安昌浩及李甲に會見し其失意を慰めん爲めなりと

●軍人と船賃の支給　陸軍運輸部職務規程第十三條第一號但書に依り運輸官衙の證明を受け普通商船（關釜連絡船を含む）に依り旅行する者の船賃は右證明に基き所屬部隊に於て陸軍旅費規則定額の範圍內にて實費を支給することに定められたりと云ふ

●京龍電車擴張工事　瓦斯電氣會社にては近く十五間道路の延長工事と同時に更に擴張工事に着手し二十臺の客車に增加し尙ほ南大門より古市町分岐點に至る線路を除く外悉く複線となすべき豫定なりと云ふ

●陳列所擴張見合せ　農商工部所屬の商品陳列所に本年度に於て家屋を新築し出陳物品を增加し各地產物の紹介に努むる筈なりしが提出したる豫算を削除されたるを以て本年度擴張は擴張に着手する能はずと云ふ

●郡衙の移轉と經費　交通機關の發達に伴ひ地方郡衙中移轉の必要を生じたるものあり之等は豫算の上已むを得ざるものより漸次移轉せしむる方針にて之に關する經費は度支部より臨時に支出するに決せりと

●井上雅二氏の招宴　井上雅二氏は七日午後六時より京龍仁の新聞通信社員約二十名を京城ホテルに招き送別の宴を張りたるが井上氏の挨拶に次ぎ來賓を代表して大岡京日社長の挨拶ありて九時過散會したり

●滿韓連帶の小荷物　客年十二月中滿韓連帶旅客手小荷物數左の如し
▲管理局發旅客　二十三個▲同手小荷物　五十個▲南滿發旅客　六十八個▲同手小荷物　五個

●守佐川氏に斬奸狀　二三日前何者の惡戲か守佐川總裁を始め重役五名の姓名を列記したる斬奸狀を投じたる韓人らしき無賴のものあり時節柄其筋にては警戒中なりと

●六師團長の新年宴　第六師團長木越中將は昨八日午後一時より大久保軍司令官、石塚長官專賣取扱外文武勅奏任官數十名を龍山師團長官舍に招待し盛なる新年宴會を催せり

●各道典當鋪賦課稅　忠淸南道觀察道にては地方稅として本年度より典當鋪稅を賦課することに決したるが來年度よりは各道に於ても此稅目を地方稅中に加ふべしといふ

●漢江氷上大運動會　龍山に於て發行せる朝鮮日之出新聞の主催の下に來る十六日第三日曜日を期し漢江に一大氷上運動會を催すと云ふ

●商船出港變更さる　大阪商船會社汽船溫州丸大勢丸の二隻は七日釜山發木浦、群山に向ふ豫定なりしも去る九日出港に變更したり

●中村農務局長歸任　母堂の訃に接し倉皇出發したる中村農務局長は一昨夕南大門着歸任す山本課長以下同局員其他の出迎ありたり

●田島法學博士入京　京都法科大學長法學博士田島錦治氏は八日午後十時廿分南大門着入京せり

●池田政府委員東上　今期議會に於ける統監府よりの政府委員たる池田通信管理局長七日東上せり

●大韓每日發賣禁止　昨八日發行の大韓每日申報は發賣頒布を禁止され且つ之を押收されたりと

●中村氏母堂の葬儀　中村農務局長母堂秀子刀自の葬儀は豫定の如く八日午後一時旭町三丁目日蓮宗護國寺に於て執行せられたり、當日會葬者の重なる人々は岡、木內、田原、小松の各參與官、趙農相、若林警監、鈴木、澤田兩局長、吉原副總裁、林理事、三島銀行理事、本田博士、高橋辨護士其他官民無慮二百餘名なりしと云ふ

●庵原氏の新年宴　庵原水產局漁政課長は昨八日正午より局員三十餘名を自宅に招きて新年の宴を張りたりと

小學生の府縣別　京城民團立小學校に於ける客蔵末在學生の府縣別を調査するに左の如し

東京	一八〇	長崎	一九三
福岡	一九三	大阪	一一九
山口	二〇七	熊本	九二
大分	一九六	廣島	九七
佐賀	一〇七	滋賀	四〇
岡山	八二	島根	三九
兵庫	四八	鳥取	三一
京都	六三	香川	四四
三重	四七	靜岡	三、一二三
鹿兒島	三六	愛媛	二、七三一
愛知	二一	神奈川	一、七二七
富山	一七	埼玉	一三
秋田	二五	山形	一一
和歌山	一三	新潟	一八
北海道	二一	長野	二一
福井	三一	茨城	二一
岐阜	二七	宮城	一四
石川	二八	高知	一一
福島	二八	奈良	七
德島	一六	宮崎	六
千葉	二三	群馬	五
栃木	一三	岩手	四
青森	一二	沖繩	一
山梨	八	韓國	六

にして之を級別すれば第一級千二百四十九人第二級千百卅六人の現在なる由

韓國財務機關（終）

（三）光武九年以來當國開港の設備維持に關する工事を掌理しつゝありし臨時稅關工事部は事務統一上の必要により隆熙二年八月勅令第九十五號を以て之を建築所に合併せり（四）大邱及全州兩財務監督局は其管轄區域三道に跨り監督上廣濶に失するに依り隆熙二年勅令第六十四號を以て同二局の管轄區域中より忠淸南北二道を分離し之を漢城財務監督局の管轄とし忠淸南道公州に監督局支局を設置し又同三年三月勅令第三十一號を以て同支局を廢し更に財務監督局を新設せり今隆熙三年五月末に於ける度支部各局並所屬官署の配置を示せば左の如し

度支部、大臣官房、司稅局、司計局、理財局、會計檢査局、建築所（建築所出張所、煉瓦製造所）印刷局、關稅局（關稅局出張所、稅關、稅關支署、稅關監視署、稅關出張所）臨時財產整理局、財務監督局、財務署

●井上氏の渡歐期　井上雅二氏は本月十日頃東上滯在の上諸般の準備を整へ三月下旬外遊の壯途に上るべしと

●山田技師の入京　鐵道管理局鴨綠江出張所技師山田技師は昨十日午後十時二十分南大門着列車にて入京せり

●水產副組長入京　朝鮮海水產組合副組長西川宗一氏は二十日より開會の代議員會に關し打合の爲八日入京

▲治外法權▼　新年になつて東京や大阪の實業家銀行家乃至財政家等は皆一樣に本年經濟界の有望なるべきを唱へて居る、ソレも其筈四十二年中我國へ流入した外資二億圓と貿易輸出超過二千萬圓とが何處かに遊金となつて新事業の勃興を促がしつゝあるからである▲半島の經濟界は如何と云ふに之れ亦母國の好影響を受けるのと鐵道工事の着手地方金融組合の增設鎭山の開鑛炭事業の規模擴張東拓の水產着手其他で必ず幾らかの景氣が出るに違いない▲只寒に入つて此迄の暖にて之ぞ米作が虫害に罹らねば良いがとソレが一寸心配になる、何にせ半島の不景氣は東拓と韓銀が本氣になつて働き出せば必ず恢復するに違いない▲四十二年中の公休なる祭日が日曜祭日を合せて六十五日あつた、之に風引き二日臨時を合すれば百日位の休になる、是れでは迚も仕事の成績の擧がる筈がないが勿論韓國政府には普通日曜日の外に百五十四の祭祀日と云ふ休みがある、韓國が今の文明世界で退歩を示して居るのも職由するところ茲にあるのだ▲小宮宮內府次官は最近韓皇から李氏政所入の供脈で拜領して來た寶物が一ツ殖へた▲李完用は傷害本復して近日退院するソーだ、トコロで滑稽な事は何とか云ふ醫者殿は李完用の生命をとりとめたのを恰も佐藤總監が李溶草に活人劍を用ひて効を奏したのと同樣に心得違ふ人每に自慢をして居るソーである、馬鹿に…オット醫者に附ける藥なしとは良く言つたものだ。

拳骨(一)

桃睡

何故拳骨なんかと云ふ題を附したかと聞かれると些度返答に困るが何だか此の記事の最後が拳骨の雨で了り相に想つたから左樣命題した迄の事だ。

どして置て尾久十君は向り直る。

「君の言葉は全部理から推斷した同情のない議論だ」

「恐らくはかも知れんね、今度の事件許りぢやない吾輩は既に久しき以前から彼の女に對して一ッ滴の涙も生憎と持合せんのだから………」

「そ、や君聞いよ、寧ろ亂暴だ」と吸み刺しの大和を口附の邊りからポツキリ折つて尾久十君が躍氣となる。

「ほーん、何が亂暴さ、君も不可笑い事を云ふぢやないか」と富樫香海居士は人事の樣に落付拂つて。

「君は何が爲めに夫れ程高原婦人に同情せねばならぬのか、吾輩は先づ夫れから解らんのさ」

「驚くね君にも、同情するもせんも君彼女は女性である丈け夫れ丈け可愛想ぢやないか」

「何が可愛想だ、何處が可愛想だ」

「何處がつて君想つて見給ね、可愛想だ者」

「ナ、だから何處が可愛想だと云ふんだ」

「解らんな君も………」

「君が解らんのさ」

「はゝゝ何を云ひ爭つて在仰つしやるんです」と細君が笑ひながら茶を運んで來る。

「なアにね富樫君が餘り解らん事を云ふもんですから」

「何故僕が解らんのか」と香海居士は兩肩を突き出した。

「まあ君默つてゐ給ね、僕が是れから其の解らん理由を宣敷く說明する」

「ハツハツ〳〵」

「何が可笑ひ」今度は尾久十君大いにむきになつて香海居士に食つて蒐る

「何がつて君も弱いぢやないか吾輩の賛同を求め得なかつた爲に遂に一つ穴の狢たる可き妻に同情を求め樣なんぞと君………」

「可かん〳〵、僕が君に賛同を求むる求めんなんかは抑も主客顛倒の甚敷いもんで、元來なれば君が僕に對して是非何分の賛同をと叩頭嘆願せなきやならん筈の者だ」

「諾、々、それでは御高說謹んで拜聽仕らうか」

「聽き給ね共、身を入れてだよ」尾久十君は勢ひ込で一膝乘り出した。

「ね奥さん」

「は、はい」と意外に話を向けられて細君はまごまご。

「事件の起りと云ふのは抑も昨晩の外泊からなんです、改めて伺ひする迄もないですが富樫香海居士は昨晩御宅へ歸らなかつたでせう」

「ほゝゝ」一方が餘り眞面目なだけに細君は噴き出す。

「ね、歸らなかつたでせう」と解つた事を益々訊ず、香海居士は苦り切つて口を夾む。

「知れ切つてるぢやないか那樣事を訊かなくつたつて」と。

伊藤公遭難活動寫眞

▲今日本に到着す ジャパン、プレッス、エゼンシーが一萬五千餘圓を以て買收せる故伊藤公爵遭難當時の模樣を撮影せる寫眞の原板は同撮影者コプチエーフ氏(哈爾賓軍團御用寫眞師)携帶して去る五日朝モンゴリア號にて敦賀港に來着せり右に付きエゼンシー事務員の談によれば原品は東京にて授受すべき約束につき未だ實見せざるも原板の長さは六百尺あり公爵搭乘の列車哈爾賓到着より客車の窓外に首を出して四邊を展望せる處下車露國藏相との會見、軍隊檢閲、外交團前方にての遭難光景、列車に柩を舁ぎこむ處、兇漢の旅順護送に至る迄の各圖を連續せるものにて現影頗る鮮明なり尙ほ同原板は當時歐洲各國より哈爾賓に出張し來り競爭買收に努めたるも撮影者は勿論露國官憲に於て日本に多大の同情を寄せ好個の紀念物たらしめんと特に我が手に賣約をなすに至りしものにして同寫眞は日本宮廷及び公爵家の供覽を得て後に一般に觀覽せしむる筈なりと

●雨中の喜劇

昨八日午後一時頃なりき南大門前を左に折れし大平町を一個肥大の外人を乘せて馳せ往くポ車ありし件の乘客は微醉の上機嫌にて襟飾の曲みしにも頓着なく頻りと鼻唄三昧の大得意なりしが首振る調子の過ぎた者かさらぬだに泥濘の勾配路に差し掛るや車体諸共に顛倒なしければヨボは四ッン這ひのアイゴーを連發し車中の外人は折柄の雨に雨具掛けの車中に身動きもならず只々畜生〳〵を連呼するのみの始末、漸く附近の者共駈け來りて引き起し遣りたるが外人は中々に承知せず何やら文句は並べ居れど言葉は互ひに不通の事とて外人の不平とヨボの謝辭とがゴッチャになりて時ならぬ雨中の喜劇を演じたりと

●女郎樓主を訴ふ

仁川敷島第二敷島樓の抱ゑ本名本田クニ事齋名清松と呼ぶは一昨日の午後八時頃花町派出所に出頭なして申らく妾の年期は既に滿切居るには不拘主人不在と云ふを口實に未だに廢業の手續を爲し呉れぬのみか此の正月の忙がしい紋日をさへたゞ働きに爲て呉れよ杯と勝手な註文丈はなし妾しには一度の外出さへも許して被下れず餘りの爲れ方心外に存じます故御說諭の程願み入るとの事に該査公は直ちに同樓抱主の平塚某なる樓主を呼び出して訊問なしたる結果は清松女郎の申立て通りに相違なき爲め其の無法を嚴重に說諭なし直樣廢業の手續を履行すべしと申渡して引取らしめたりと

●廣告全文の取消

本紙八日第三面及九日(本日)第一面欄に掲載せる歌舞伎座に於ける東谷活動寫眞館の福袋に係る景品籤星計畫は射倖心を挑發し貯蓄心を破壞するの恐れありとの理由を以て斷然差し止めを命ぜられたれば更に之れに代る穩當なる方法を以て四方購客平常の眷顧に報ゐんと目下考案中なりと云へば右廣告全文を取り消す旨申込まる

▲五千萬圓の糞尿

農商務省の調査に依れば我國一ヶ年の肥料消費額は內國製造肥料三千三百六十二萬余圓輸入肥料は三千九百四十九萬餘圓なるも(內三割は內地製肥原料に供せらるゝを以て即ち二千七百六十萬圓は輸入のまゝ肥料として費消せらる)其の他米糠醬油糟、燒酎粕等を加ふれば一ヶ年の販賣肥料消費額は優に七千萬圓以上にして之に人糞尿肥料價格五千萬圓を加ふれば我國に於ける一ヶ年の肥料消費額は實に一億二千万圓以上に達すべし

●運試しから拘引

仁川港宮町二丁目探見酒場方雇人新野鶴太郎(三六)と云ふは新年早々の我が運試し見んとて余計な運に力瘤を入れ去る七日午後三時頃支那町一丁目義生盛方にて大運彩票を購求中折柄巡廻の警官に認められ本署へ拘引の上該票を破棄して說諭放還せられたりとはデモ本年は御立派な運氣なるべし

●時計の持逃け

仁川花町二丁目一樂館の行商人久野唯助と云ふは去る六日同地松坂町二丁目本田福藏方寄留の松本信七なる者より寫眞を撮影に往くから懷中時計を貸し呉れよとて信七より右時計を受取りたるまゝ其の行衛不明となりしかば同人より右の官所へ出で目下搜索中とは困つた男哉

●光昇樓の新妓

大和町三丁目梅の家抱ゑの梅八事竹內まさ(二七)及び元同樓にて是も同じく左褄取り居たりしが都合あつて歸國此度再び來京の上花々しく打つて出でたる市松事本名岩浪とめ(二〇)の兩人は愈々昨夜より南山町二丁目光昇樓より今朝はアツー

●太平湯の朝湯

當地太平町の太平湯は浴槽の廣大にして設備の完全なるを以て有名なるが數日前より朝湯を開始し輝く早朝より入浴せしめりと

●四等の當籤者

京城繁榮會四等當籤者は義和宮にして該札取扱店は本町一丁目洋雜貨店青木堂なりと

●仁川敷島の檢梅

一昨七日執行せられたる仁川敷島遊廓の檢梅は受檢者七十名の內洗滌を要するもの二名ありたるのみにて他は別條なかりし由

●本日の基督教會

日の出町京城基督教會にては午前九時半日曜學校同十時米澤牧師の禮拜說教「靈的情誼」あり尙同夜の傳道說教は休會の上午後七時より總會開催の筈なりと▲旭町日本メソヂスト教會にて午前十時「靈の研究」同十一時より木原牧師の禮拜說教「模範」午後七時より木原牧師の傳道說教「[illegible]ねんことを欲ふや」

▲平民文庫▼

▲アラマア好かん私しの寫眞を新聞に出してれまけに初春早々から煽てまくつてホントに厭な人だわ」とは僕が女だつたら云ふ言葉であらう其れは偖れ乍ら謹んで新年を賀し併せて各位の御健康を祈る(はの字)▲芳川寬二とでは判るまいか統監の息の寬二さん先日れ見掛け申したが大層れ痩せなさつた何にせ日韓瓦斯電氣會社と云ふ大案体の營業部長と云ふ大任を負ふて居られるとだから御心配も大体でなからうもの無理はない(紅)▲此の頭ウッカリして往來を步行ど顛倒かへる道が一面の鏡の樣だから(劍突道人)▲はの字君、ぎの字君一つ奮發して下さい(小僧)▲去七日の朝歌舞伎座前のかき料理とか云ふ家の前を通ると女中どもが朝鮮人を捉まへてキャツ〳〵騷いで居たが余り見宜いものではない(注意生)▲南大門通りの魚市場の羅り聲は聞きつけないと實に妙てけてんだ健康に害があると思ふのは素人考へだらう(立見男)▲內地で松飾りを見ると景氣が宜くなるが當地のは夫れ程でないと云ふのは根の色が惡いからだと思はれます(金吾)▲京城の家賃もそろ〳〵下りかけた、下るのぢやない普通になるのだ本來今迄が高かつたのだからナア(大納言)▲漢城い子女を熱狂せしめた京城聯合賣出しの抽籤も濟んで結果を發表せられた僕も三十枚程持つて居たから一枚位實があるだらうと思つて居たに一つも物にならなんだ殘念だが文句も云へまい諦めたがさて諦め惡いものだナア(への字)▲私は昨夜飽かで別れた女と會つて再び同樓することになつたのに又しても事情に餘儀なくせられて泣いて別れた夢を見たが扨私が思つて居る程彼方でも思つてゐて偶には夢にでも見て呉れるだらうか覺束ない話だと覺めてからつく〳〵泣きましたよ小僧さん笑つて下さい(巴生)▲決して笑ひません一句塞る「寒に妻と夢に泣く夜や春淺き」(小僧)▲小僧の奴に生意氣なことを云ふな(倸)▲今年の冬は例年に比して暖かいが冬は矢張り寒い方が心持が宜い樣ですね(丁稚)▲第一道路の泥濘が堪りませんよれ互にね(小僧)

▲無料紹介欄▼

人事部

●看護婦 病院又は醫院藥局へ　ケーゲー生(四九三)
●年齡十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし　三井物産京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と階下六疊二間及坂井戸物置等附家賃面談　氏名在社(四七八)
●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候
●貸家 京城吉野町開設四回藝妓置付官衙又は會社員向希望者は電七四番へ
●電話讓渡したし　氏名在社(四九六)
●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雑貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし　旭町一の六〇 山村
●電話付き貸間あり　南山町二ノ一〇一 鶴井

廣告

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

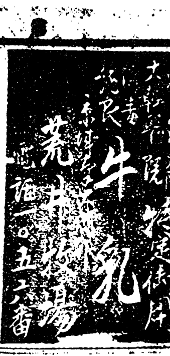
大勉強
理髮 長崎床
龍山榮町民團役所下四ッ角　塚田

歐米新式 高等裁縫
龍山榮町
田口洋服店
電話三二二番

龍山若松町
島崎鐵工場
電話四四一番

内科 小兒科 眼科
入院 隨意
龍山新市街山下町
原醫院

龍山老松町
請負業 土木建築工事
磯口商店
電話一一九番



精實を旨とし大勉強仕候也
宮内府 博物館 御用
古今美術 書畫表裝 金銀屏風 襖洋式天井張
壽町二丁目
表具 松月堂
電話千〇〇三番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

韓國銀行
電話 (長)三一三 本店用 (長)六三〇 當座用 (長)二一六 來客用 一一〇 臨時建築部 三三二 ...

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、以上日本 公州、忠州、清州、全州、光州、榮山浦、濟州島、晋州、海州、砂利院、博川、事邊、鏡城、會寧、(以上韓國) 大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

歐米新式 高等裁縫
龍山元町四丁目二十八番戸
丸濱洋服店
弊店は廉價と叮嚀を旨とし精々勉強仕候

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利
●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢
右發賣以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸規則、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の御方に限り前回發假の通り特別減價を以て御高needed此期間に於て御購入の順序に依り配本に着手可致候間此際續々御用仰せ付られ度率願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目 (日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

正札付大安賣 掛値なし 安心して買へ升

誠實勉強
開店廣告
御料理 洋食 すき燒 辨當 出前仕候
京城鐘路裁判所裏
鐘路軒

貨物運送取扱
税關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送
内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話九一六番 電話六三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(鮫そば横町)

きゝめのある 温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番



美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)

開店廣告
今般左記の處に開店致し破格勉強可仕候間陸續御用命の程奉願上候
牛肉・鷄肉・豚肉
京城本町一丁目理事廳前
阪本精肉店
電話一三一九番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

馬車配達
●●滋養と牛乳●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番
●●衛生と消毒●●

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
概略營業品目
和洋帳簿 諸紙類
文房具 學校用品
卷紙封筒 手帳類
帽子 洋傘 クッ 鞄
洋服附屬品 一式
メリヤス類 一式
毛布 膝掛 馬車掛
石鹼 香水 齒磨類
タオル、ハンカチフ 手袋 沓下 袋物類
正札 一 引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋 雜貨 卸小賣商
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

蒸溜 牛乳 消毒
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一一三

綿 わた 綿 ワタ
たやすくうります
ふとん地色々 ふとん調進 太物類 洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋
唐川商店
電話二六一番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸く落成仕候間不相變御贔屓の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

特約販賣
漬物 味噌 醤油 製造元
京城本町五丁目
自製
和洋酒、罐詰、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒物、特約販賣、御用命御望に依り商品切手調進仕候
大上商店
(電話二五一番)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申上候 (利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、宇田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 高崎、八幡、大津、長濱、長野、松本、高山、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金津、大聖寺、富山、伏木、新潟、長岡、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取
山陰道 米子、境、松江、今市、大田
山陽道 姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、下關、萩、德山、小郡、長府、平生、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 和歌山、串本、御坊、田邊、新宮、尾鷲、州本、撫養、德島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 久留米、若津、中津、小倉、行橋、後藤寺、佐伯、別府、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、直方、飯塚、博多、福岡、大牟田、門司、大分、熊本、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣
清國 晋州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

日本郵船株式會社 瀛船出帆告
仁川代理店 電話十番
仁川海岸通 電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月十五日後三時出
●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大沽行 酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 立神丸 元山、浦潮、清津行 一月廿六日午後出帆
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ三十分前ニ歴續ノ事